

第6学年 家庭科学習指導案

日時 平成16年10月26日(火) 5校時
児童 6年1組(男17名、女17名、計34名)
場所 家庭科室
指導者 佐久山 恵利

1 題材名 衣服を気持ちよく 一気持ちよく着るくふうをしよう一

2 題材について

・ 本題材は、小学校学習指導要領「2 内容」の「(2) 衣服に関心をもって、日常着を着たり手入れしたりすることができるようにする。」「(8) 近隣の人々の生活を考え、自分の家庭生活について環境に配慮した工夫ができるようにする。」を受けて設定したものである。

・ 本題材の「衣服を気持ちよく」は「なぜ衣服を着るのだろう」「気持ちよく着るくふうをしよう」「衣服と生活について考えよう」の3つの小単元から構成されている。

ここでは、日常着を取り上げ、自分の衣服を見直したり関わったりする場を多くもたせ、衣服を着ることに関心をもって、生活場面に応じた着方ができるようにする。また、気持ちよく着たり大切に着たりするために必要な手入れの仕方が分かり、日常生活で実践できるようにする。さらに、洗剤や水の使い方、着られなくなった衣服の再利用について考える。このように、生活環境に配慮しながら家庭生活で実践していこうとする態度を育てていくことをねらいとしている。

・ 子どもたちは、家庭生活に対する興味はもっている。衣服に関してもだんだんと個性を表すようになってきている。流行に敏感な子どももおり親に選んでもらったものを着るだけでなく、自分で選んだり、自分の好みを強く主張したりする子どももいる。

しかし、手入れや普段の衣服の管理については、親まかせになっている子どもが多い。季節に合った衣服がいつもきちんとしてしまわれていて自分はただ着るだけであったり、汚れたら、洗たくかごに入れておけば次の日にはきれいになっていたりという状態である。洗たくについては家族のものをまとめて洗うことが多いため、手伝いの経験はあるもののいつも自分のものを自分で洗うという習慣はほとんどない。

このような子どもたちに、衣服の手入れや保健衛生上の着方や生活活動上の着方の学習を通して、もっと自分の家庭生活を見直し、関わる場を多くもたせたい。やり方・工夫を調べたり、実際にやってみたりする中で自分もできるという達成感や洗たくした物を身につける心地よさ、家族の一員として家族のためにやった後に感謝されるうれしさを体験させていきたい。

・ 本題材の指導にあたっては、「なぜ衣服を着るのだろう」では、保健衛生上、生活活動上の2つを中心に衣服の働きを考え、それに対応した着方を取り上げる。衣服は体温調節や外敵から体を守ること、また、様々な生活上の活動をしやすくするなどの健康・安全面での働きを押さえ、その着方を考え、生活場面に応じた着方ができるようにする。「衣服を気持ちよく着るくふうをしよう」では、日常着を気持ちよく大切に着るために、体から出る汚れに着目させ、洗たくの必要性を理解させる。また、自分の手で洗濯することを通して、小物などが簡単に洗えることや、汚れのひどい部分を効果的に洗えることを実感させ、よさを改めて感じ取らせる。「衣服と生活について考えよう」では、大事にしている衣服でも着られなくなったときの再利用の仕方と環境を守るために洗剤の種類や使用量、すすぎの水の量などに注意する大切さが分かり、日常生活の中で実践していこうとする態度を培っていききたい。

3 題材の目標

- 1 日常着を気持ちよく着たり、必要な手入れについて関心をもつ。 <関心・意欲・態度>
- 2 衣生活を見直し、日常着の着方や手入れについて考えたり、自分なりに工夫したり、できるようにする。 <創意工夫>
- 3 日常着の適切な着方や手入れをすることができるようにする。 <技能>
- 4 衣服の働きが分かり、洗たくの必要性と日常着の着方や手入れについて理解する。 <知識・理解>

4 指導計画（7時間）

次時	学習目標	学習内容	支援及び留意点	評価
なぜ衣服を着るのだろう	1 ○自分の生活を見つめ、衣服を気持ちよく長く、着るためにどんなことをしているか考え、自己課題をもつことができる。	1 自分のお気に入りの服を着てきて、どんなところが気に入っているか、どんなことに気をつけているかを話し合う。 2 一人ひとりの思いや疑問をもとに、学習計画を立てる。	・布地やデザインの違い、着方の工夫、手入れの方法、リサイクルなどの多様な視点から迫っていけるように資料の提示の工夫する。 ・自分の生活を振り返り、問題点を見つめさせながら、自己課題を設定するよう支援する。	・衣服に関心を持ち、気持ちよく長く衣服を着るためにしていることを日常生活から考えることができたか。 (関心・意欲・態度) 発表の様子 学習プリントの記述
	2 ○保健衛生上、生活活動上の働きが分かり、気温や季節の変化や生活場面の応じた着方をしようとする態度を育てる。	1 課題をもとに、衣服の働きについて考え、話し合う。 2 これまでの学習を生かして着方について考え、発表する。	・いろいろな活動場面を想定し、保健衛生上と生活活動上の働きに分けてまとめていくようにする。	・衣服の働きや気温や季節の変化・生活場面に応じた着方について、工夫することが分かったか。 (知識・理解) 発表の様子 学習プリントの記述
気持ちよく着るくふうをしよう	3 ○衣服を気持ちよく着るために手入れが必要なことや洗たくの必要性が分かるようにする。	1 衣服には、どこにどのような汚れがついているか考える。 2 目に見えない汚れについて実験する。 3 洗たくの必要性についてまとめる。	・考えやすいようにいろいろな資料を提示する。 ・目に見えない汚れについて、洗たくの必要性を理解するためにニンヒドリン溶液を用いて実験し、視覚的にもはっきり分かるようにさせる。	・洗たくの必要性が分かったか。 (知識・理解) 発表の様子 実験の様子 学習プリントの記述
	4 ○手洗いの手順が分かり、洗たくの実習計画を立てることができるようにする。	1 靴下を洗いながら洗たく手順を理解する。 2 自分のお気に入りの服を洗たくする計画を立てる。	・洗剤溶液の作り方、洗い方、絞り方、干し方について資料を用いて理解させる。 ・学習したことをもとに計画を立てさせる。	・衣服の洗たくの計画を立てることができたか。 (技能) ・洗たくの基本的な作業を理解できたか。 (知識・理解)

				実習の様子 学習プリントの 記述
5 ・ 6	○衣服にあった洗たくをすることができ るようにする。 ○洗たくを振り返り 生活に生かそうと する。	1 お気に入りの○ ○○を洗たくしよ う。 2 洗たくをして思 ったことや生活に 生かすことを発表 する。	・取り扱い表示につ いても取り上げ、 色落ち・縮れにつ いては提示し、何 に気をつけて洗う のかを考えさせる。 ・自分や友達の発表 を関連させて聞き、 それぞれのよさに 気づいていくよう にする。	・衣服の種類や汚れ に応じて洗たくを 工夫しているか。 (創意工夫) 実習の様子 発表の様子 学習プリントの 記述
7	○衣服を大切に着よ うとする。	1 環境と生活を結 びつけて考える。 2 衣服を大切に着 よう。	・水や洗剤の使い方 を取り上げ、環境 について考えるよ うにする。 ・衣服が資源を使っ ていることに気づ き、大切に扱うよ うにする。	・衣服を大切に気持 ちよく着るための 手入れの方法を工 夫している。 (創意工夫) 学習プリントの 記述
衣服と生活について考えよう				

5 本時の指導

(1) 本時のねらい

- ・衣服の洗たくの必要性が分かる。(知識・理解)

(2) 本時の展開

過程	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 点	資 料 等	備 考
課題をもつ	1 課題を確認する。	1			
	なぜ、洗たくが必要なのか考えよう。				
見通す	2 衣服には、どこにどんな汚れがついているか考える。 ・きれいな布と汚れている布で比較実験をする。 ・汗のついたTシャツで実験する。	10	・汗をたっぷり吸い取っている見た目はきれいなTシャツを見せ、どこにどんな汚れが付いているか予想させる。 ・見た目には汚れの付いていない汗や体の内部から分泌される汚れにも目を向けるようにする。	・汗のついたTシャツ ・きれいな布 ・汚れた布	
	3 目に見えない汚れについて実験する。 ・自分が持ってきた物で実験する。	15	・ニンヒドリン溶液を使うことにより目に見えない汚れ(汗のタンパク質)を視覚的にもはっきり分かるようにさせる。	・ニンヒドリン溶液 ・アイロン ・アイロン台	
深める	4 衣服についている汚れについて話し合う。	8	・衣服が外部からの汚れ、内部からの汚れから体を保護し、清潔にしていることに気づかせる。 ・吸水性について、簡単な実験から常に清潔な物を着用することの大切さを考えさせる。	・図 ・色水 ・きれいな布 ・汚れた布	
まとめる	5 洗たくの必要性についてまとめる。	7	・学習して分かったこと・感想や家庭で実践したいことについてまとめさせ発表させることで、次の学習や家庭実践につなげるようにする。		①
生かす	6 洗たくするとき、どこに気をつけて洗うか考える。	4	・自分の洗たく物の汚れを考え、洗たくの仕方を具体的に考えられるようにする。		

(3) 評価

評価規準	十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	努力を要する児童への支援	評価方法
①衣類の洗たくの必要性が分かる。 (知識・理解)	学習感想の中に洗たくの必要性について分かったことを記述し、日常の生活場面を考えている。	学習感想の中に洗たくの必要性について分かったことを記述している。	目に見えない汚れがあったことを想起させたり、板書から洗たくの必要性について大切な言葉をまとめたりするように声がけをする。	・発表の様子 ・学習プリントの記述